

1 2つの複素数 $z = 3 + i$, $w = 1 + i$ に対し、次を計算し、 $a + bi$ (ただし、 a, b は実数) の形に示しなさい。【各6点】

(1) $z + w$

$= 4 + 2i.$

(2) zw

$= (3 + i)(1 + i)$

$= 3 + 4i + i^2$

$= 3 + 4i + (-1)$

$= 2 + 4i.$

(3) $\frac{z}{w}$

$= \frac{3 + i}{1 + i} = \frac{(3 + i)(1 - i)}{(1 + i)(1 - i)}$

$= \frac{3 - 2i - i^2}{1 - i^2} = \frac{3 - 2i - (-1)}{1 - (-1)}$

$= \frac{4 - 2i}{2} = \frac{2(2 - i)}{2}$

$= 2 - i.$

2 次の文の空欄に当てはまる最も適切な数または式を答えなさい。【各1点】

$i^1 + i^2 + i^3 + \dots + i^{2018} \left(= \sum_{k=1}^{2018} i^k \right) \quad (*)$

の値を求めたい。 $i^1 = i$, $i^2 = \boxed{(1)}$, $i^3 = \boxed{(2)}$, $i^4 = \boxed{(3)}$ であるから、 i^k は i , $\boxed{(1)}$, $\boxed{(2)}$, $\boxed{(3)}$ の繰り返しとなる。

$i + \boxed{(1)} + \boxed{(2)} + \boxed{(3)} = \boxed{(4)}$

かつ、2018 を $\boxed{(5)}$ で割った余りは 2 であるから、(*) の値は $\boxed{(6)}$ となることわかる。

(1) -1 (2) -i (3) 1

(4) 0 (5) 4 (6) i - 1

3 次の文章を読んで、下の各問に答えなさい。

複素数 $1 + \sqrt{3}i$ は

$1 + \sqrt{3}i = 2 \left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} \right) \quad (\#)$

と表すことができる。これは以下のようにして導くことができる; 複素数 $1 + \sqrt{3}i$ の $\boxed{(a)}$ は 2 であるから、 $1 + \sqrt{3}i$ を 2 でくくると

$1 + \sqrt{3}i = 2 \left(\frac{1}{2} + i \frac{\sqrt{3}}{2} \right)$

となる。 $\left(\frac{1}{2} \right)^2 + \left(\frac{\sqrt{3}}{2} \right)^2 = \boxed{(b)}$ より、 $\cos \theta = \frac{1}{2}$,

$\sin \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$ を満たす θ が存在する。この θ を $1 + \sqrt{3}i$ の $\boxed{(c)}$ という。 $1 + \sqrt{3}i$ の場合は、 $\theta = \frac{\pi}{3}$ である。以上のことから、 $(\#)$ を得る。

(1) 空欄に当てはまる最も適切な語句、数、または式を答えなさい。【各2点】

(a) 絶対値 (b) 1 (c) 偏角

(2) 一般の複素数 z の $\boxed{(a)}$ を表す式として正しいものを次の選択肢 (ア) ~ (エ) の中から選びなさい。

選択肢

(ア) z^2 (イ) $z\bar{z}$ (ウ) \bar{z}^2 (エ) $\sqrt{z\bar{z}}$

解答欄 (エ) 【2点】

(3) $(\#)$ を利用して、 $(1 + \sqrt{3}i)^8$ を $a + bi$ の形に直しなさい。

$(1 + \sqrt{3}i)^8 = 2^8 \left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} \right)^8$
 $= 256 \left(\cos \frac{8\pi}{3} + i \sin \frac{8\pi}{3} \right) = 256 \left(\cos \frac{2\pi}{3} + i \sin \frac{2\pi}{3} \right)$
 $= 256 \left(-\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}i \right) = 128 (\sqrt{3}i - 1). \quad [6点]$

(4) $(\#)$ を利用して、 $1 + \sqrt{3}i$ の 2 乗根をすべて求めなさい。

$1 + \sqrt{3}i$ の 2 乗根を $w = r(\cos \theta + i \sin \theta)$ とおくと、

$w^2 = r^2(\cos 2\theta + i \sin 2\theta) = 2 \left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} \right)$

であるから、 $r^2 = 2$, $2\theta = \frac{\pi}{3} + 2n\pi$ が成り立つ。よって、 $r = \sqrt{2}$, $\theta = \frac{\pi}{6}, \frac{7\pi}{6}$, つまり、 $1 + \sqrt{3}i$ の 2 乗根は

$\pm \sqrt{2} \left(\frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{i}{2} \right). \quad [6点]$

- 4 次関数 $f(z)$ が正則関数か否か判定し、正則ならば導関数 $f'(z)$ を求めなさい。ただし、 $z = x + yi$ とする (x, y は実変数)。【各6点】

$$(1) f(z) = z^2$$

z の多項式関数は正則である。導関数は、 $f'(z) = 2z$ 。

$$(2) f(z) = x^2 + y^2 i$$

$$\frac{\partial}{\partial x} x^2 = 2x \neq 2y = \frac{\partial}{\partial y} y^2 i$$

より、コーシー・リーマンの方程式を満たさないため、正則ではない。

$$(3) f(z) = x^2 - y^2 + y + (2xy - x)i$$

$$\frac{\partial}{\partial x} (x^2 - y^2 + y) = 2x = \frac{\partial}{\partial y} (2xy - x)$$

$$\frac{\partial}{\partial y} (x^2 - y^2 + y) = -2y + 1 = -\frac{\partial}{\partial x} (2xy - x)$$

より、コーシー・リーマンの方程式を満たすので、正則である。導関数は

$$f'(z) = \frac{\partial}{\partial x} (x^2 - y^2 + y) + \frac{\partial}{\partial x} (2xy - x)i$$

$$= 2x + (2y - 1)i.$$

$$(= 2z - i)$$

(実際に、 $f(z) = z^2 - iz$ であり、これは多項式関数である。)

- 5 次の関数 $f(z)$ と曲線 C に対し、複素積分 $\int_C f(z) dz$ を求めなさい。【各6点】

$$(1) f(z) = z + 2, \quad C: z(t) = (1+t) + it \quad (0 \leq t \leq 1)$$

$f(z)$ は多項式関数なので複素数平面全域で正則である。よって、複素積分の値は曲線 C の端点 $z(0) = 1, z(1) = 2 + i$ にのみ依存する。特に、 $f(z)$ の原始関数 $F(z)$ が存在し、 $F(z) = \frac{1}{2}z^2 + 2z$ なので、

$$\begin{aligned} \int_C f(z) dz &= F(2+i) - F(1) = \frac{1}{2}(2+i)^2 + 2(2+i) - \left(\frac{1}{2} + 2\right) \\ &= \frac{1}{2}(4+4i-1) + 4+2i - \frac{5}{2} = 3 + 4i. \end{aligned}$$

$z'(t) = 1 + i$ であるから、複素積分の定義より、

$$\int_C f(z) dz = \int_0^1 \{(1+t) + it + 2\} (1+i) dt$$

を計算しても結果は同様である (詳細は省略)。

$$(2) f(z) = \frac{1}{z-2}, \quad C: \text{原点 } 0 \text{ を中心とする半径 } 1 \text{ の円}$$

$f(z)$ は $z = 2$ を除く領域で正則関数である。 C は単一閉曲線で $z = 2$ を内部に含まないため、コーシーの積分定理より、

$$\int_C f(z) dz = 0.$$

$$(3) f(z) = \frac{z^3 - 1}{z - i}, \quad C: \text{原点 } 0 \text{ を中心とする半径 } 2 \text{ の円}$$

$f(z)$ は $z = i$ を除く領域で正則であるが、 $|i| = 1$ より、これは単一閉曲線 C の内部にある。一方、分子の $g(z) := z^3 - 1$ は多項式関数なので、複素数平面全域で正則である。よって、コーシーの積分表示より、

$$\begin{aligned} \int_C f(z) dz &= 2\pi i g(i) = 2\pi i (i^3 - 1) \\ &= 2\pi (i^4 - i) = 2\pi (1 - i). \end{aligned}$$

(部分点) 配点が【6点】の問題については、部分点として【3点】加点することがある。